

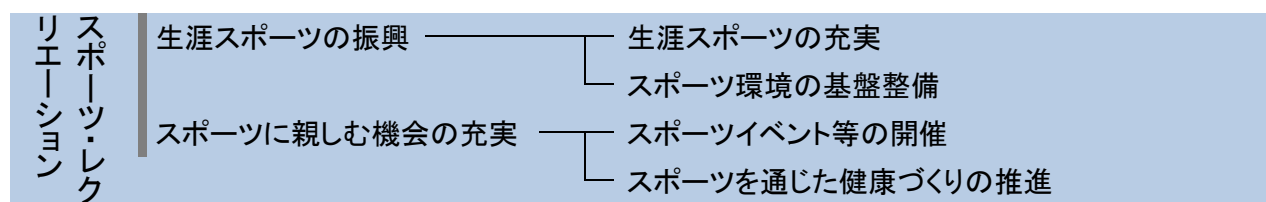
第6節 スポーツ・レクリエーション



現況と課題

- ◆ 本市の生涯スポーツの普及のため「富士吉田市スポーツ推進計画」を策定し、計画に基づいた施策を展開していきます。
- ◆ 少子化によるスポーツ少年団数の減少や各競技団体のチーム数も減少している中、スポーツ少年団や各スポーツ競技団体を総括する（公財）富士吉田スポーツ協会を通じて、運営費補助やスポーツ大会出場激励金の交付による団体活動への支援やプロスポーツチームと連携しスポーツ人口拡大に向けた各種事業を展開しています。
- ◆ 「転倒予防都市」宣言により、転ばないまちづくりを目指すためには、スポーツ・運動の持つ役割が重要であるため、関係機関や健康関連部署と連携し、「チャレンジデー」などのスポーツイベントや運動教室を開催し、子どもから高齢者までスポーツ・運動を始めるきっかけ作りの場を提供しています。
- ◆ 中学校部活動指導者派遣事業による専門的な技術指導により、中学校部活動の充実を図っています。
- ◆ 市民のスポーツ活動の拠点となる市民体育施設については、指定管理者制度を導入し、施設利用者のニーズに対する迅速な対応ときめ細かいサービス、安全に利用できるよう新型コロナウイルス感染症対策を講じた中で運営管理をおこなっています。また、鐘山総合体育館は建設から40年以上が経過し、老朽化が進んでいるため、新体育館建設計画を進めています。
- ◆ 公立学校体育施設一般開放により、地域のレクリエーション活動や市民のスポーツ活動の場を提供しています。

施策の体系



(1) 生涯スポーツの振興

①生涯スポーツの充実

富士吉田市スポーツ推進計画（2013 から 2022（平成 25 から令和 4）年）が満了することに伴い、新たに富士吉田市スポーツ推進計画（2023 から 2032（令和 5 から令和 14）年）を策定し、事業展開に努めます。近年、新型コロナウイルス感染症の影響による健康への意識の高まりや、東京オリンピック等の開催により、市民のスポーツや運動への関心が高まっています。健康寿命の延伸に向けた、運動の習慣化への支援や、子どもから高齢者までそれぞれの体力、年齢、目的に応じたスポーツ活動が進められるように、（公財）富士吉田スポーツ協会等の協力や健康関連部署と連携し、スポーツ教室やスポーツイベント等の開催によりスポーツに親しむ機会を提供し、生涯スポーツの普及発展に努めます。また、少子化でスポーツ少年団の団員減少が進む中、競技人口の拡大や技術力向上など青少年スポーツ活動に対する支援を行います。現在スポーツ推進委員が主体として障がい者スポーツ事業をおこなっていますが、参加者の確保や、会場までの移動手段等の課題に対し、きめ細やかな支援を行う必要があります。

②スポーツ環境の基盤整備

市民のスポーツ活動の拠点となる市民体育施設については、多様化する市民ニーズを把握する中で、誰もが気軽に利用できるような施設の運営に努め、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた中で安心安全な施設管理を図ります。また、既存の総合体育館の老朽化に伴い、安心してスポーツに親しめる新たな交流の場となる環境の整備を進めます。

(2) スポーツに親しむ機会の充実

①スポーツイベント等の開催

スポーツ・運動に取り組むきっかけづくりとして「富士吉田市チャレンジデー」や各種イベントを開催し、スポーツや運動を身近に感じてもらうことで、市民のスポーツ活動の推進に取り組んでいきます。また、市民ニーズを把握する中で、関係団体と連携し、誰でも気軽に参加できる各種スポーツ教室を開催することで、を生涯スポーツ社会の実現に向け取り組んでいきます。

②スポーツを通じた健康づくりの推進

市民の健全な心身の保持については、健康関連部署との連携を密にし、横断的に協議・協力を図り、スポーツを通じた市民の健康づくり・体力づくりの推進に努めます。

●チャレンジデー

